



夢追人VI

かとう学園 宗像市立河東中学校
学校通信第23号(R4. 9. 20)

河東中学校のホームページが、笠井教頭先生によって数日おきに更新されるようになりました。この学校だよりもカラーで見ることができます。河東中学校は、今週、第2回定期考査を実施します。最善を尽くして準備を行いましよう。

授業研修の風景

宗像地区 10 校の中学校でつづられている「特活・道徳・総合」研究会の授業研究会が本校で開催され、長尾先生が代表授業を行いました。

長尾先生(学活)

9月16日(金)学級活動の研究のため、長尾先生が8年4組で公開授業を行いました。13名の宗像地区内の先生方や12名の福岡教育大生が参観しました。

白熱するグループ討議



全体への発表も堂々としていました



ロイロノートでまとめを入力

【話し合いを中心とした学級活動の授業のあり方の研究】

宗像地区の中学校では、学級活動の時間に「他者との対話を生かした意思決定」をどのように実現するかという研究を行っています。本年度は、本校の長尾先生が代表して授業を公開しました。宗像地区の全中学校から特活の代表者が集まり授業参観し協議会を開きました。授業では「RTM(小学校ボランティア体験)を振り返り、KJC(校内ボランティア活動)に向けた目標を決めよう」というテーマで話し合い活動が行われました。

8年4組の元気の良さ・活発さが参観者を驚かせた授業でした。グループ討議では、この研究会が追究している意見交換がよくできていました。また、グループで話し合ったことを全体に発表する際も、一言一文で終わらず、主張・内容・根拠がたくさんを語彙を使ってしっかりと説明されていました。

授業の最後には、タブレットを使ってロイロノートでこれからのKJCの個人目標をまとめましたが、目標の中に役割意識と相手意識を盛り込んでいました。

長尾先生をはじめ8学年の先生方が素晴らしい学級活動のあり方を提案してくれる研究授業になりました。今回の授業は、本校だけでなく宗像地区の中学校全体に学活の提案をする価値あるものとなりました。8年4組のみなさん、ありがとうございました。

先週の放課後学習会の様子です

今週行われる定期考査に向けて学年ごとに放課後学習会を行いました。日頃の授業やテスト勉強をしていてわからなかったことなどを担当の先生や福岡教育大生にたずねていました。

2回目の定期考査の7年生



教え合いができています8年生



9年生は教科ごとに教室に分かれて実施



勉強（試験勉強）や仕事が天に貯金されている？ ～ 森村市左衛門が示した成功の秘訣 ～

福岡県発祥の有名な会社の中にTOTOという北九州市に本社のある企業があります。トイレや洗面化粧台の陶器生産では日本一の会社です。ウォシュレットやユニットバスを最初に販売した会社としても知られています。このTOTOをはじめノリタケチャイナ・日本ガイシなどを創業したのが森村市左衛門です。彼が晩年、仕事の成功の秘訣と勉強のあり方について、次のように語っています。定期考査を目前にした皆さんにちょっと読んでほしい内容です。明治時代末の言葉ですので、少し現代風にアレンジして読みやすくしています。



「人は正直に全心全力をつくして、一生懸命に働き勉強して、天に貸してさえおけば、天は正直で決して計算間違えはありません。人ばかりをあてにして、人からお礼を言われようとか、ほめられようとか、そんなケチな考えで仕事をしたり勉強したりしているようでは、けっして大きなものにはなりません。

労働や学問は神聖なもので、けっしてムダになったり骨折り損になったりなどならない。正直な労働や勉強は、枯れも腐りもせず、ちゃんと天が貯金として預かってくれる。どしどし働いて勉強してできるだけ多く貯金として天に預けておく者ほど大きな収穫が得られる。私は初めからこういう考えで、ただなにがなしに天に貸すのだ、天に預けるのだと思い、今日まで働いてきたが、天は、いかにも正直。三十年貸し続けたのが、今日現にどんどん返ってくるようになりました。」

森村市左衛門が語ったように、勉強や仕事の成果というのはすぐには現れないこともあります。しかし、それはけっしてムダになることはなく、どこかに蓄積されているものです。そう信じて努力を積み重ねることが大切だと言えるでしょう。河東中のみなさんが、明日から始まる定期考査に向けてがんばる試験勉強の成果の多くは、本番で発揮され結果に結びつくでしょう。でももし、今回思う通りの結果に反映されなくても、その部分はちゃんとどこかに蓄積されて、またいつの日かどこかで発揮されることでしょう。精一杯、試験に向けての準備をがんばりましょう。